

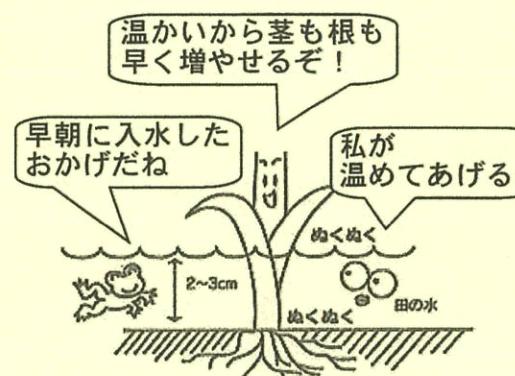
# 農作物特報

品質の良い米づくりには、初期生育の確保による『穂数型稻』と適切な中干しによる『根づくり』が重要となります。

生育期に応じた水管理の実践により、気象変動に強い稻を目指しましょう。

## 1. 水管理

- 活着後は、浅水管理（水深3cm程度）を徹底しましょう。



<初期生育の良い稻>

- 入水は、朝または夕方に行い、日中は止め水にして水温を高め、分げつ(新しい茎)の発生を促しましょう。

- 田がわいたり、藻が発生した場合は、水の入れ替えや軽い田干しを行い、根に酸素を与えましょう。

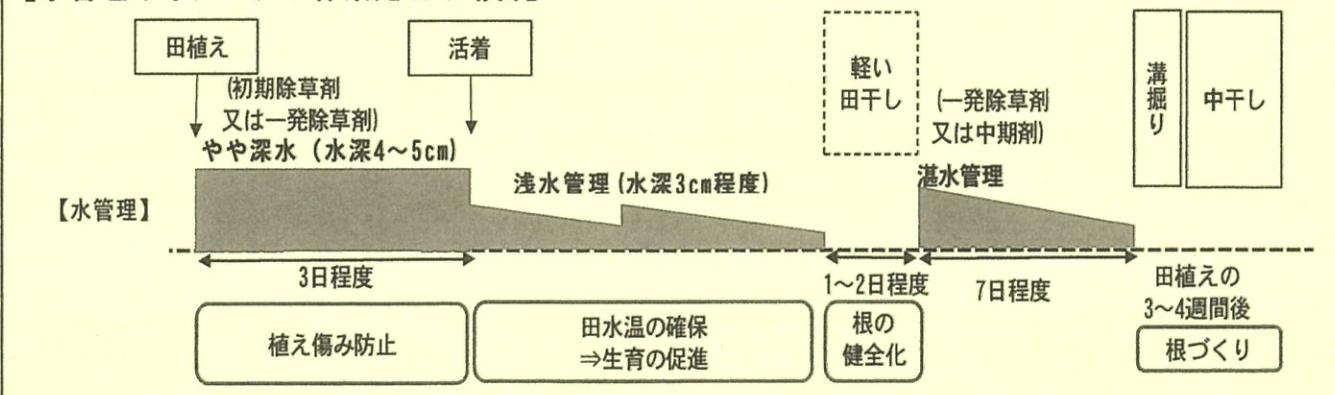
- 軽い田干しは、風の穏やかな温かい日に行いましょう。

- ・一発除草剤を散布済みの場合 → 軽い田干しは散布後7日以降に
- ・中期除草剤を散布予定の場合 → 軽い田干しは散布前に

× チラ干しは、苗が傷んだり、雑草が発生しやすいため、厳禁です。

× 深水では、水温が上がりにくく、分げつの発生が少なめで軟弱徒長ぎになります。

### 【水管理のイメージ：体系処理の場合】



補植用苗は、いもち病発生のもと！ 補植後は速やかに処分しましょう!!

農業用水路への転落事故に気を付けて!!

## 2. 溝掘り

### ほ場全体の入水・排水を考慮して設置しましょう

- 中干しの効果を高めるため、6月初旬までに溝掘りを行いましょう。

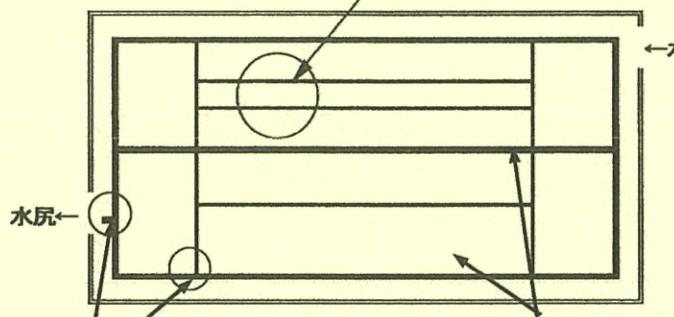
- 溝掘り前に軽い田干しを行い、土を落ち着かせた後に設置しましょう。

〔設置の目安は『額縁』 + 『5m程度の間隔に1本』。〕

〔“水の溜まっているところ”や“乾きにくいところ”は重点的に。〕

- 挖った溝は、確実に水尻（排水口）と連結しましょう。

水がいつも溜まっている所（停滞水）や乾きにくいところは重点的に！



掘った溝は、排水溝にしっかりとつなぐ！

## 3. 中期除草剤の使用のポイント

薬剤名	処理時期	使用量	使用上の注意点
アクシズMX 1キロ粒剤	田植後 20 日～ (ノビエ 4葉期まで) 収穫 45 日前まで	1kg/10a	・田植 7日後から使用できますが、薬害を回避するため、田植え 20 日後から使用してください。 ・30°C以上の高温が予想される場合は使用しない。
テッケン ジャンボ	田植後 15 日～ (ノビエ 4葉期まで) 収穫 60 日前まで	500g(10パック) /10a	・水深6cm以上の深水状態にして、ほ場にパックを均等に投げ入れる。 ・藻が多発しているほ場では使用しない。 ・30°C以上の高温が予想される場合は使用しない。

※「やまだわら」には、上記の中期除草剤は使用しないでください（薬害が発生する可能性有り）。中期除草剤を「やまだわら」に散布する場合は、地区担当の営農指導員に相談してください。

- 敷布前に、軽い田干しや水の入れ替えを行いましょう。

- 大雨が予想される場合は、除草剤を散布しないでください。

- 敷布時は田面が見えない程度の深水とし、散布後7日間は「止め水」を保ち、落水やかけ流しはやめましょう。

### 除草効果を高めるため、適期散布を行うとともに、湛水状態を保ちましょう

農薬の散布時は、隣接ほ場や住宅地周辺などへの飛散防止に努めましょう。

富山県農薬「危害防止運動展開中 4/13～9/14